

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	現場実習 3
科目基礎情報				
開設学科	スポーツトレーナー科	コース名		開設期 通年
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数 180時間
単位数	6単位	授業形態	実習	
教科書/教材	日本体育協会専門科目テキスト 1～9			
担当教員情報				
担当教員	内田・杉浦・佐藤	実務経験の有無・職種	有・JSPO公認アスレティックトレーナー	
学習目的				
<p>日本体育協会公認アスレティックトレーナー試験を受験するためにはAT保有者の指導下で180時間以上の現場実習を実施する必要があります。内訳は①見学実習（30時間）②検査・測定、評価実習（30時間）③スポーツ現場実習（30時間）④アスリハ実習（30時間）⑤総合実習（60時間）となっています。本実習では講義で学んできたことを、スポーツの現場で実際に実施、体験することで技術を取得しすることを目的とします。</p>				
到達目標				
<p>この実習ではアスレティックトレーナーの仕事を理解し、スポーツ現場における安全管理、救急処置、評価測定、コンディショニングや各種エクササイズやリハビリの実践および指導ができることを狙いとします。また、外傷障害や競技特性を理解し、知識を深めることで様々な状況に対応できる質の高い指導者になれるよう努め、スポーツ現場での即戦力を目標とします。</p>				
教育方法等				
授業概要	サッカーコースやテニスコースのサポートを通し現場での対応力を養います。また、グループワークを採り入れ、メニューの作成や多くの課題を解決していく中で自信を深めていきます。終了後は報告書を記入し提出します。			
注意点	自主性・積極性を大事にし、実習態度や言動、容姿も厳しく指導する。トレーナーとしてふさわしくない場合は実習の打ち切りの可能性もあります。理由のない遅刻や欠席は認めず、180時間以上の実習時間を実施できない場合は単位を認定できません。			
評価方法	種別	割合	備考	
	試験・課題	40%	課題を総合的に評価する	
	小テスト			
	レポート	30%	毎回の報告書の内容を評価する	
	成果発表 (口頭・実技)			
	平常点	30%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する	
授業計画（1回～90回）				
回	授業内容	各回の到達目標		
1～15回	見学実習	トレーナー業務を知る/真似する/理解する トレーナー業務の補助ができる		
16～30回	スポーツ現場実習	応急処置を理解し、実施できる ストレッチを理解する/セルフストレッチの指導ができる/パートナーストレッチができる テーピングを理解する/状況に合わせてテーピングができる		
31～45回	検査・測定と評価実習 アスレティックリハビリテーション プログラム作成実習	外傷障害を理解する/評価することができる 状況に応じた検査・測定を理解する/実施することができる/評価することができる アスリハを理解する/メニューを作成することができる		
46～60回	アスレティックリハビリテーション 実習（作成・実施・再考）	リスクを理解し、回避することができる アスリハメニューを作成し指導することができる 状況に応じた評価をし、段階に応じてメニューを再考できる		
61～90回	総合実習	アスレティックトレーナーとして自立した活動ができる 臨機応変な対応ができる		